

## 血液凝固異常症に関する調査研究班 第1回班会議プログラム

日時：平成25年7月12日（金）午前10時～午後5時終了予定

場所：慶應義塾大学病院 新棟11階中会議室

（サブグループ研究計画：25分 各個人研究計画：10分 討論含む）

10：00～ 研究代表者 挨拶 村田 満  
国立保健医療科学院 研究事業推進官 武村 真治 様

10：15～ **特発性血栓症研究班** 研究計画 小嶋 哲人

サブグループリーダー：小嶋 哲人 名古屋大学医学部

班員： 坂田 洋一 自治医科大学  
川崎 富夫 大阪大学医学部  
宮田 敏行 国立循環器病研究センター  
横山 健次 慶應義塾大学医学部  
小林 隆夫 県西部浜松医療センター  
榛沢 和彦 新潟大学教育研究院

研究協力者：

中村 真潮 三重大学大学院／山田 典一 三重大学大学院  
平井 久也 浜松医療センター／太田 覚史 三重大学医学部附属病院  
尾島 俊之 浜松医科大学／杉浦 和子 浜松医科大学

10：40～ **TMA研究班** 研究計画 藤村 吉博

サブグループリーダー：藤村 吉博 奈良県立医科大学

班員： 和田 英夫 三重大学医学部  
小亀 浩市 国立循環器病研究センター

研究協力者：

森木 隆典 慶應義塾大学医学部／日笠 聡 兵庫医科大学血液内科  
松本 雅則 奈良県立医科大学／上田 恭典 倉敷中央病院  
宮川 義隆 慶應義塾大学医学部

11：05～ **ITP研究班** 研究計画 富山 佳昭

サブグループリーダー：富山 佳昭 大阪大学医学部

班員： 藤村 欣吾 安田女子大学  
桑名 正隆 慶應義塾大学医学部  
倉田 義之 四天王寺大学

研究協力者：

降旗 謙一 株式会社エスアールエル／野村 昌作 関西医科大学 第一内科  
宮川 義隆 慶應義塾大学医学部／柏木 浩和 大阪大学大学院医学系研究科  
高蓋 寿朗 西神戸医療センター

11：30～12：30 昼休み

12 : 30～14 : 10

**特発性血栓症班研究報告：司会 小嶋 哲人**

小林隆夫 「女性ホルモン剤と血栓症に関する全国調査研究

—最近 10 年間に於ける静脈血栓症及び動脈血栓症の後方視的研究」

小嶋哲人 「血栓性素因の調査研究：先天性アンチトロンビン欠損症の遺伝子異常解析」

坂田洋一・窓岩清治「特発性血栓症/静脈血栓塞栓症に対する

ワルファリン療法施行患者に於ける安全性と有効性に於ける臨床研究」

川崎富夫 「ダビガトラン服用患者に於ける PT-INR、および APTT の測定値について」

宮田敏行 「日本人の血栓性遺伝素因プロテイン S K196E 変異の地理的分布」

横山健次 「多発性骨髄腫治療薬 Bortezomib (BOR) が巨核球に与える影響の解析」

太田覚史 「肺血栓塞栓症・深部静脈血栓症 全国調査研究

- 肺血栓塞栓症と深部静脈血栓症の相違点 - 」

榛沢和彦 「震災後の静脈血栓塞栓症に於ける研究」

14 : 10～15 : 10

**TMA班研究報告：司会 藤村 吉博**

藤村吉博・松本雅則 「Upshaw-Schulman 症候群患者の周産期の管理」

宮川義隆 「血栓性血小板減少性紫斑病に於けるリツキシマブの第 II 相医師主導治験計画」

和田英夫 「H25 年度の研究計画」

小亀浩市 「定量 PCR を用いた ADAMTS13 遺伝子解析によるエクソン欠失の同定」

15 : 10～15 : 30 休憩

15 : 30～16 : 40

**ITP班研究報告：司会 富山 佳昭**

倉田義之 「特発性血小板減少性紫斑病の全国疫学調査」

宮川義隆 「妊娠合併 ITP の診療参照ガイド (案) の作成」

藤村欣吾・高蓋寿朗 「エルトロンボパグの中止後も血小板数が維持された ITP の 1 症例」

桑名正隆 「モデルマウスを用いた ITP の根治的治療法の開発」

富山佳昭・柏木浩和「血小板減少患者に於ける血小板機能解析」

**終了**

---

平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業

血液凝固異常症に於ける調査研究班 研究代表者：村田 満

事務局：慶應義塾大学医学部臨床検査医学 富田ゆかり 村田教授室TEL：03-5363-3838